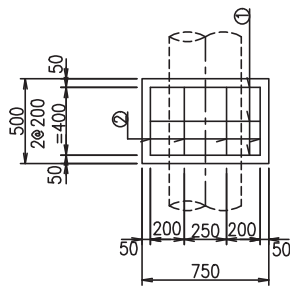
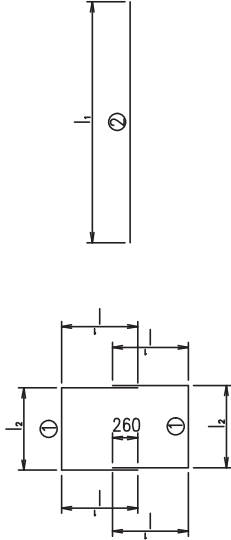


VII スラストブロック標準図集

平面図

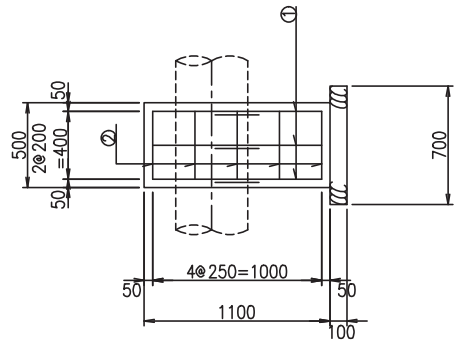


配筋加工図

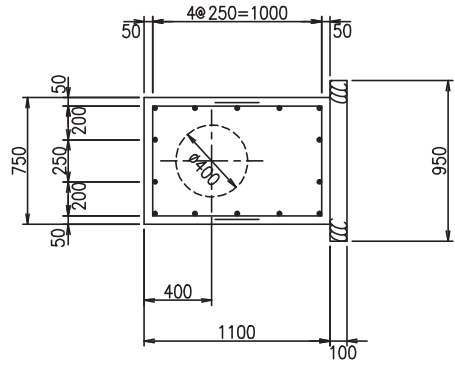


番号	径	l ₁	l ₂	l ₃	小計	本数	計
①	D13	630	650		1,910	6	11,460
②	D13	400			400	14	5,600
ΣL= 17,060 mm					ΣW=	17 kg	
コンクリート体積 (m ³)						0.34	
砕石面積 (m ²)						0.67	
型枠面積 (m ²)						2.45	

側面図



断面図



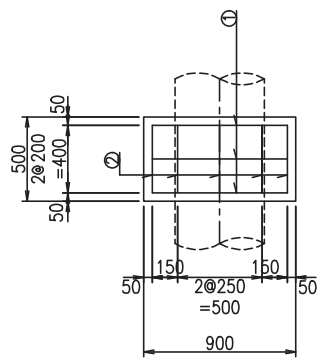
(注) 1. 砕石は締め均し後、十分に振圧すること。
 2. 地盤が不良等で、十分な耐力が期待できないときは、基礎杭等による不固下対策を講じること。

スラストブロック

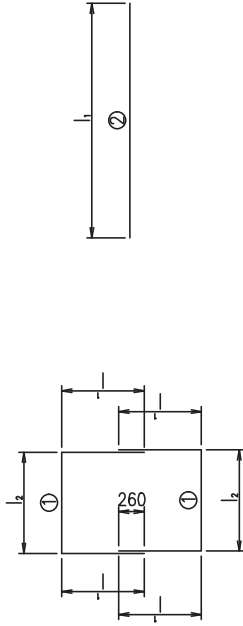
φ400

(単位mm)

平面図

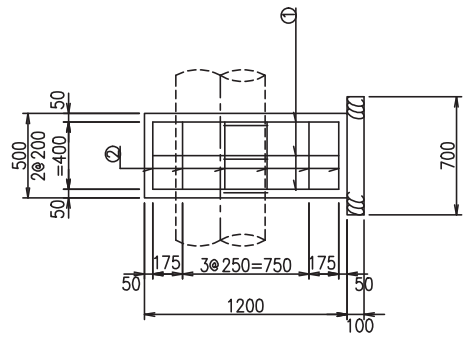


配筋加工図

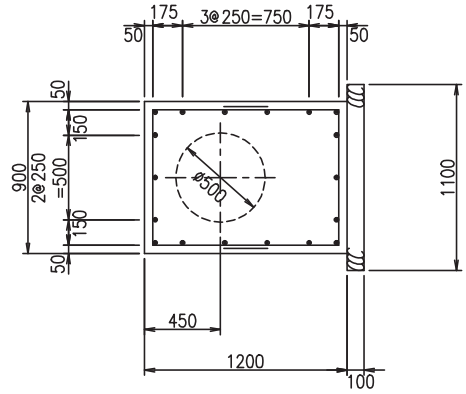


番号	径	l ₁	l ₂	l ₃	小計	本数	計	
①	D13	680	800		2,160	6	12,960	
②	D13	400			400	18	7,200	
ΣL= 20,160mm							ΣW=	20 kg
コンクリート体積 (m ³)								0.43
砕石面積 (m ²)								0.77
型枠面積 (m ²)								2.92

側面図



断面図



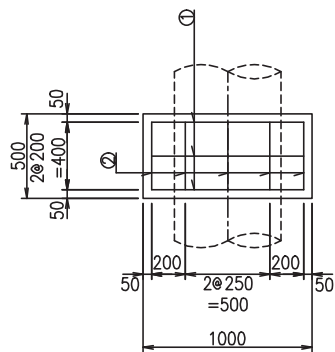
(注) 1. 砕石は敷き均し後、十分に転圧すること。
2. 地盤が不良等で、十分な地耐力が期待できないときは、基礎筋等による不同沈下対策を講ずること。

スラストブロック

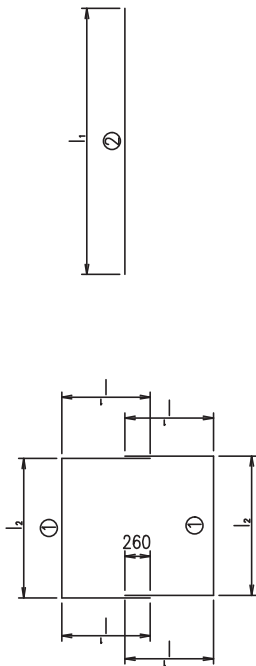
φ500

(単位mm)

平面図

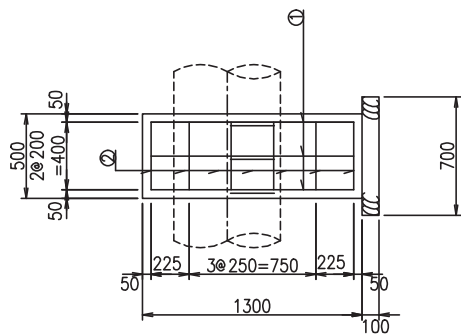


配筋加工図

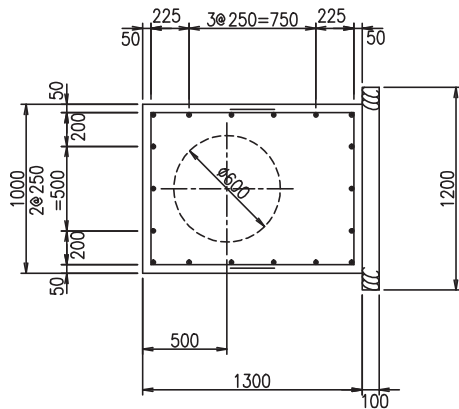


番号	径	l_1	l_2	l_3	小計	本数	計	
①	D13	730	900		2,360	6	14,160	
②	D13	400			400	18	7,200	
$\Sigma L = 21,360 \text{ mm}$							$\Sigma W =$	21 kg
コンクリート体積 (m ³)								0.50
砕石面積 (m ²)								0.84
型枠面積 (m ²)								3.28

側面図



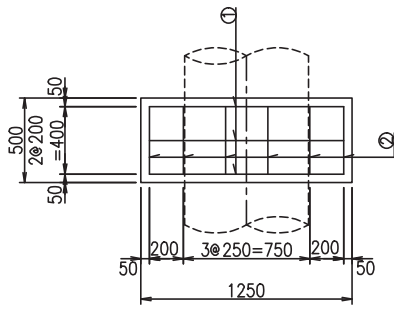
断面図



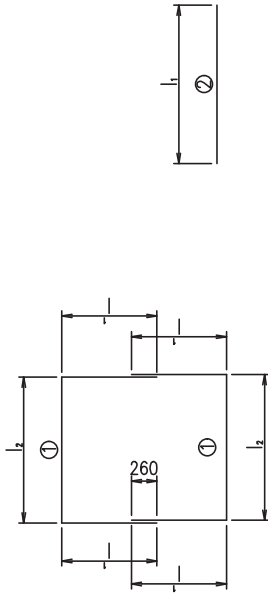
(注) 1. 砕石は置き均し後、十分に転圧すること。
 2. 地盤が不良等で、十分な耐力が期待できないときは、基礎杭等による不固沈下対策を講ずること。

スラストブロック
 φ600
 (単位mm)

平面図

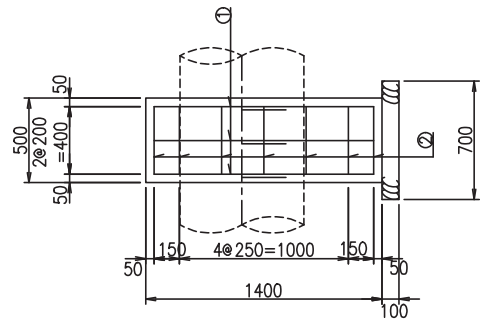


配筋加工図

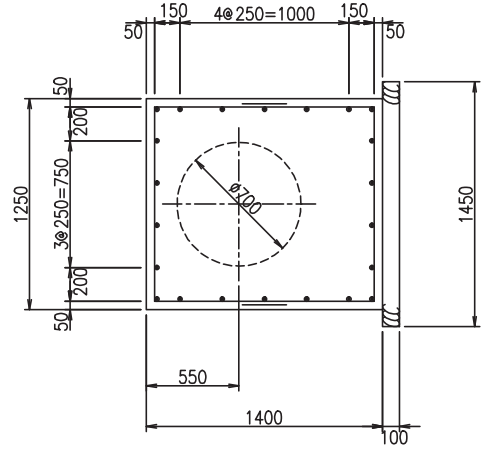


番号	径	l ₁	l ₂	l ₃	小計	本数	計	
①	D13	780	1,150		2,710	6	16,260	
②	D13	400			400	22	8,800	
ΣL= 25,060 mm							ΣW=	25 kg
コンクリート体積 (m ³)								0.67
砕石面積 (m ²)								1.02
型枠面積 (m ²)								4.06

側面図



断面図



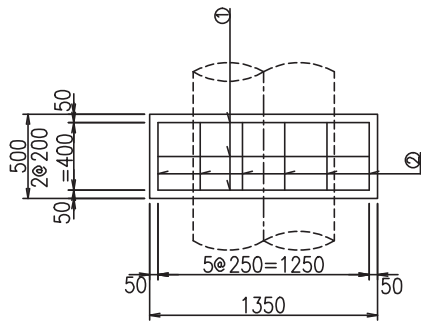
(注) 1. 砕石は敷き均し後、十分に転圧すること。
 2. 地盤が不平等で、十分な地耐力が期待できないときは、基礎杭等による不同沈下対策を講じること。

スラストブロック

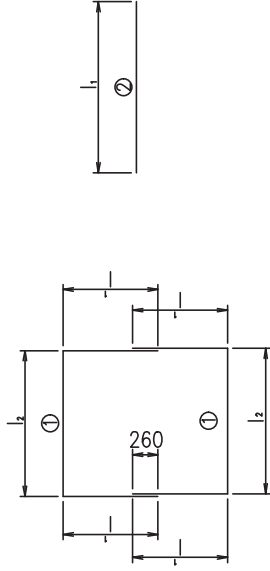
φ700

(単位mm)

平面図

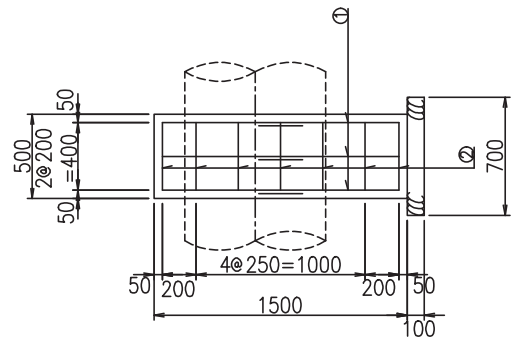


配筋加工図

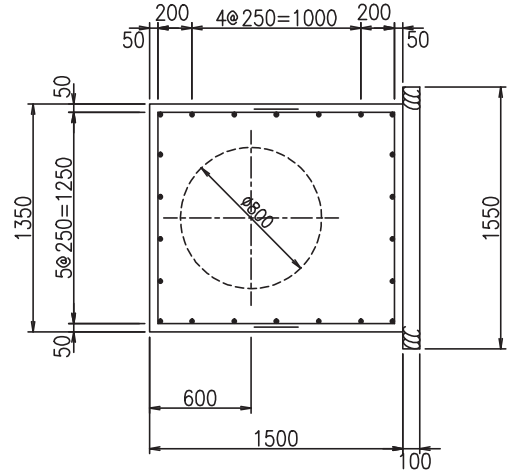


番号	径	l ₁	l ₂	l ₃	小計	本数	計	
①	D13	830	1,250		2,910	6	17,460	
②	D13	400			400	22	8,800	
ΣL= 26,260 mm							ΣW=	26 kg
コンクリート体積 (m ³)								0.74
砕石面積 (m ²)								1.09
型枠面積 (m ²)								4.45

側面図



断面図



(注) 1. 砕石は敷き均し後、十分に転圧すること。
 2. 地盤が不良等で、十分な地耐力が期待できないときは、基礎杭等による不同沈下対策を講じること。

スラストブロック

φ800

(単位mm)